

支 部 長 挨拶

若 濱 五 郎

去る6月4日の支部総会で、昨年に引続き支部長を仰せつかり、その責任の重さを肩に感じております。微力ではありますが、支部のために尽くす所存です。会員各位の御協力をお願い致します。

昨年度は研究発表会、講演会、北見市での談話会等が行われましたが、北網圏北見文化センター、北見工業大学等地元の方々、北方圏センター、札幌市青少年科学館をはじめ、会員の皆様方の大きなお力添えをいただき、お陰様で盛会裡に終ることができました。厚く御礼申し上げます。

さて、雪氷学会の目的は「雪氷学の進歩をはかり、併せて関連する技術の発展と生活の向上及び産業の発展に寄与すること」と定款にうたわれておりますが、雪氷の研究や情報に関する社会からの要請は近年益々高まっております。北海道におきましてもスノートピア、フットピア等、雪との調和・共存を図ろうとする計画が進められております。また、都市の除排雪など雪処理の効率化、地吹雪対策等、いわゆる克雪に関することは勿論のこと、最近は更に一步進んで雪氷寒冷を積極的に利用、活用しようとする研究が盛んになって参りました。利活雪時代の到来です。

北陸地方では利活雪に関するキャンペーンやシンポジウムが盛んに行われております。今年2月設立された東北支部でも、雪氷の応用研究や雪利用の研究に大変熱心であるときいております。北海道においても我々支部が中核となって、雪氷の基礎研究を進めるのは勿論のこと、その応用、技術の開発・向上、さらに利活雪にも取り組んで行かねばと存じます。

そのためには先ず研究の仲間をふやさなければと思います。いろいろな機会に我々支部の活動をPRし、個人会員、賛助会員、新たに創設された特別会員等、会員の増強につとめるよう、会員各位の御協力をお願いする次第であります。有難うございました。

支部長の交代にあたり

木 下 誠 一

昭和60年6月の支部総会において、支部長が私から若濱五郎さんに代わりました。ふりかえってみますと、昭和52年から8年間という思いがけず長い間支部長をつとめさせていただきました。この間支部会員皆様の御協力で、なんとか曲がりなりにも支部活動を進めることが出来ました。理事・監査・顧問・幹事の役員の方々には、支部活動の企画立案に積極的に参画いただきました。特に推進役でありました歴代の幹事長（昭52—竹内政夫氏、昭53—54、秋田谷英次氏、昭55—56小林大二氏、昭57—59、堀口薫氏）には大変お世話をいただきました。厚くお礼申し上げる次第です。

雪氷学会北海道支部は、毎年、総会、研究発表会、講演会、談話会、講習会と、予算の少ないのにもかかわらず、多くの行事を企画しています。私の支部長時代にも、その都度盛会に行事を終えることが出来たと思っています。特に札幌以外の地方で開かれた談話会（旭川4回、紋別・釧路・岩見沢各1回）の開催にあたっては、地方の方に献身的なお世話をいただきました。北海道特有の寒冷現象について、意欲的な意見・討論があり、非常に意義深いものがあったと思います。

特に思い出深いこととして、私の支部長時代、昭和55年には全国大会、昭和59年には国際雪氷学シンポジウム（IGS）が札幌で開かれたことです。支部会員皆様の並々ならぬ骨折りの結果、非常な成功をおさめることが出来ました。日本の雪氷学の発祥の地である北海道として、全国的に、又世界的に、その実力を示したと思います。

他にもなつかしい思い出が沢山あります。ともかく、支部会員皆様の御協力で、なんとか、支部長職を全うすることが出来ました。ここに厚く感謝の意を表しますとともに、日本雪氷学会北海道支部の益々の発展を祈念して、筆をおきます。

昭和 61 年度研究発表会講演要旨

日 時 : 昭和 61 年 6 月 4 日 (水)

場 所 : 北大百年記念会館、大会議室

研究発表会プログラム

13:40~15:10 座長 河村俊行

1. インダス支流 BEAS RIVER における融雪流出機構 I
小林大二 (北大低温研)
M.R.Bhutiyan, N.Mohan Rao (SASE INDIA)
2. 貯水池結氷板の温度と熱応力
川地 悟 (北見工科大学院)、佐渡公明、中尾隆志 (北見工大)
3. タンチョウ鶴のねぐらとしての不凍水面
東海林明雄 (北教大)
4. オホーツク海の数値海水モデル
佐藤清富 (札幌管区气象台)
5. 道路防雪林造成への提案 (1)
一苗木の伸長量の予測について一
斉藤新一郎 (道立林業試験場)
6. 道路防雪林造成への提案 (2)
一適期をはずれた季節における土つき苗木の植栽について一
斉藤新一郎 (道立林業試験場)

15:20~16:50 座長 石本敬志

7. 新潟県能生町柵口で発生した表層雪崩について
西村浩一、前野紀一 (北大低温研)
小林俊一 (新潟大)
8. 模型雪崩実験による雪氷混相流の内部構造の研究
西村浩一、成瀬廉二、前野紀一 (北大低温研)
9. 建物周辺の吹きだまり性状について
苔米地 司、遠藤明久 (道工大)
10. 地ふぶき跡の航空写真による冬期強風の面的調査
小林大二 (北大低温研)
11. 防風堆雪柵による表土の凍結防止とその波及効果
東 三郎、清水 収 (北大農)
藤原滉一郎、笹 賀一郎 (北大演習林)
12. 道路雪氷の消耗過程と雪質調査 (序報)
成瀬廉二、石川信敬、西村浩一、竹井 巖、
村上茂樹、前野紀一 (北大低温研)